

事業番号	11 12 01	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局	建設部	課・室	リニア整備推進局
		実施期間	S57 ~	E-mail	linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	③人口の社会増を実現				
総合的に展開する重点政策	3-9 本州中央部広域交流圏の形成				

### 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	<b>【現状】</b> ○リニア中央新幹線は、JR東海が2027年(令和9年)開業を目指し、東京・名古屋間の整備を進めている。 ○郡部の用地取得事務の一部をJR東海から受託するとともに、建設工事に関する課題に対して、関係市町村とJR東海との調整に取り組んでいる。 ○リニア整備効果を広く県内に波及させるために、伊那谷自治体会議等を通じて地域振興策の検討を進めるとともに、沿線都府県と連携を図りながら地域振興に資する鉄道となるよう取り組んでいる。
	<b>【目指す姿】</b> ○リニア中央新幹線の建設を推進する。 ○リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させ、地域振興を図る。
	<b>【実施内容】</b> 中央新幹線活用地域振興事業、中央新幹線建設促進事業、中央新幹線用地取得事業

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	契約率(契約を締結した権利者の割合)	%	35.3	53.4	↑	78.4	↑	80.0	未達成
2									
3									
4									
5									

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額			
	当初予算額	66,423	72,489	69,014
	補正予算額	1,136	-3,195	-4,474
	合計(A)	67,559	69,294	64,540
	うち一般財源	12,032	9,349	9,750
	決算額(B)	64,358	62,104	55,529
職員数(人)		13.76	13.76	15.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.JR東海から受託した関係5町村(大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、南木曾町)の用地取得事務の進捗状況を示す指標として、契約率(契約を締結した権利者の割合)を成果指標に設定。
達成状況の分析	1.新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、説明・調整の機会が限られる中、目標達成には僅かに及ばなかったが、JR東海及び関係5町村との連携を密にして用地交渉等に取り組んだ。

主な取組	1 リニア中央新幹線の建設に伴う調整 ・建設発生土の活用や環境対策等の課題に対して、関係市町村やJR東海との間で調整を進めた。 ・地域の意見・要望を踏まえ、「関係市町村長とJR東海幹部との意見交換会」において、課題への対応等について意見交換を実施。(R3.12.22開催) ・上記の「意見交換会」で出された意見を踏まえ、「知事とJR東海社長とのトップ会談」を開催し、地域の声を直接要請した。(R4.2.10)	 知事とJR東海社長とのトップ会談(R4.2.10)
	2 リニア中央新幹線の用地取得 ・郡部の用地(本線、変電施設、非常口等)の取得に向け、用地交渉や説明会等を実施。	
	3 リニアを活用した地域振興 ・「リニアバレー構想」(H28.2策定)の実現に向け、知事が座長を務める「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」を開催(R4.2.18)。	 伊那谷自治体会議(R4.2.18)

### 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	リニア中央新幹線の建設に係る用地取得及び工事等に伴う諸課題(発生土置き場の早期確定、環境対策等)への対応  「リニアバレー構想」の実現に向け、地域の多様な主体(市町村、広域連合、経済界等)と連携した取組の具体化	JR東海や関係市町村との連携を密にして、地域に寄り添った調整を進めていくとともに、課題解決に向けて、トップ会談等の機会を通じて、地域への丁寧な対応をJR東海に要請していく。  R2年度から現地機関に地域振興業務を移管し、体制強化を図ったところであり、今後、関係市町村や経済界等とより密接な連携を図り、「リニアバレー構想実現プラン基本方針」をもとに、リニア開業を見据えた地域振興の取組を加速化していく。

事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局	建設部	課・室	リニア整備推進局
-----	----------------------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	中央新幹線活用地域振興事業	6,949 千円	3,182 千円	3,233 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	リニア活用基本構想の推進及び伊那谷自治体会議の運営	直接	○南信州地域振興局にリニア活用推進担当の副局長を配置(上伊那・木曾も兼務)し、関係市町村等との連携を強化 ○伊那谷自治体会議を開催(1回) ○関係市町村・団体等に対して新たに機関紙「リニアバレーNEWS」を四半期毎に発行(9月、1月)し、地域振興の取組を紹介	
2	山梨・長野・岐阜三県リニアに関する共同研究会	直接	○令和元年度に山梨・長野・岐阜三県リニアに関する共同研究会内に「地域振興」に関する部会を立ち上げ、三県が連携した広域的な二次交通や観光等について検討(R3.11.22web会議開催)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	中央新幹線建設促進事業	4,355 千円	3,267 千円	3,741 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	中央新幹線建設促進費	負担金	○リニア中央新幹線建設を促進するため、リニア中央新幹線建設促進長野県協議会へ負担金を支出 【国等への要請活動を2回実施】	
2	中央新幹線建設調整費	直接	○リニア中央新幹線の建設工事に伴う関係機関(国、JR東海、市町村等)との調整を実施 【関係市町村長とJR東海幹部との意見交換会を1回開催】 【知事とJR東海社長とのトップ会談を2回実施】(1回は令和2年度からの延期分)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	中央新幹線用地取得事業	53,054 千円	55,655 千円	48,555 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	中央新幹線用地取得事務事業		○JR東海から関係5町村(大鹿村、豊丘村、喬木村、阿智村、南木曾町)における用地取得事務の一部を受託し、権利者との交渉等を実施 【令和3年度末の契約率:78.4%】	
2	中央新幹線用地測量試験事業		○用地取得価格を算定するために、不動産鑑定等を実施	